

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)京都八幡物流センター新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質										2.3
Q1 室内環境							0.31			2.7
1 音環境						3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						4.2	0.40			
1 開口部遮音性能		T-2を使用している。				5.0	0.60			
2 界壁遮音性能						3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-			
1.3 吸音						1.0	0.20			
2 温熱環境						2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.38			
2 外皮性能						3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						1.0	0.30			
3 光・視環境						2.4	0.25			2.4
3.1 屋光利用						3.0	0.30			
1 屋光率						3.0	0.60			
2 方位別開口						-	-			
3 屋光利用設備						3.0	0.40			
3.2 グレア対策						1.0	0.30			
1 屋光制御						1.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15			
3.4 照明制御						3.0	0.25			
4 空気質環境						3.8	0.25			3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を採用している。				4.0	1.00			
4.2 換気						4.0	0.30			
1 換気量						3.0	0.33			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 空気取り入れ口は敷地周囲の状況を勘案して、汚染源のない方位に設けられている。かつ、各種排気口と6m以上離れて設置されてい				5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						4.0	0.33			
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御						3.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.1
1 機能性						2.8	0.40			2.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33			
3 バリアフリー計画						3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30			
1 広さ感・景観		事務室天井高さ2.8m				4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース46%				4.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			
1.3 維持管理						2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.5	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ステンレスダクトを使用している。				4.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VB)⇒B、給湯:一般配管用ステンレス鋼鋼管⇒C、排水:耐火二層管(VP)⇒B Eは不使				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						2.2	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20			
5 通信・情報設備						2.0	0.20			

3 対応性・更新性		3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高6.4m	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.048982	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.39	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱性高い材料を使用している。	5.0	0.02	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.52	5.0	0.61	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	脱音装置を設置している。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が分離しやすいようにLGSを使用している。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	